

＜令和元年度（2019年度）事業報告書＞

日本世論調査協会は、令和元年度に以下の事業を行った。

1. 令和元年度 定時評議員会（総会）

令和元年5月14日、日本新聞協会会議室において定時評議員会が開催された。林文評議員が議長に選出され、安藤昌代評議員と村尾望評議員が議事録署名人に指名された。会長柳井道夫が評議員全員に対し、評議員会の決議の目的である事項、平成30年度事業報告と令和元年度事業計画及び予算の説明がなされ、了承された。平成30年度計算書類の説明があり、次いで監事より、事業報告書、財務諸表についての監査報告がなされ、審議の結果承認された。事務局より、大宮泰三評議員の辞任に伴う補充後任として井田潤治氏を評議員に選任する件について説明がなされ、審議の結果異議なく承認された。（記録は会報124号に掲載）

2. 令和元年度 理事会

1) 第1回理事会

平成31年4月23日、16時35分から日本新聞協会会議室において開催された。代表常務理事ならびに事務局から、平成30年度事業報告案と決算案についての説明の後、今國監事より事業報告、財務諸表について適正である旨の監査報告を受けた。審議の後、原案通り承認された。平成30年度事業報告、31年度事業計画・予算報告、30年度決算承認を議題とする定時評議員会（総会）を、5月14日16時30分より、日本新聞協会会議室で開催することを決定した。また、事務局より、5月7日に事務局を移転し、新住所にて業務を開始するとの説明を受け、承認された。（記録は会報124号に掲載）

2) 第2回理事会

令和元年10月1日、16時30分から日本新聞協会会議室において開催された。調査研究担当の川本常務理事から、令和元年度の研究大会の実施日程、研究発表、シンポジウムテーマについての説明と提案があり、審議の結果承認された。事務局より、入会3件（個人会員2件、団体会員1件）、退会1件、会費未納者2名の退会措置についての報告があり、承認された。協会報担当荒牧常務理事から会報『よろん』124号の編集進捗状況、広報担当佐藤常務理事から、協会ホームページのサーバーがリプレイスされたことの報告

がなされた。(記録は会報 125 号に掲載)

3) 第 3 回理事会

令和 2 年 1 月 24 日、17 時 10 分から日本新聞協会会議室において開催された。事務局より、入会 1 件(個人会員)の報告があり、承認された。調査研究担当理事から、11 月の研究大会における出席者が 107 名、懇親会の出席者が 45 名であったこと、ならびに本年度の研究大会が 5 月の評議員会(総会)に合わせて実施予定であることが報告された。広報担当理事から、協会ホームページにおけるリンク先の整備が課題であることが報告された。(記録は会報 125 号に掲載)

4) 第 4 回理事会

令和 2 年 3 月 3 日、16 時 30 分から日本新聞協会会議室において開催された。令和 2 年度事業計画、予算案が審議され、承認された。評議員ならびに理事の任期満了に伴う推薦委員選出選挙の日程(3 月 4 日告示、3 月 28 日投票締め切り)が提案され、承認された。事務局より、退会 1 件(個人会員)の報告があり、承認された。(記録は会報 126 号に掲載予定)

5) 第 5 回理事会

第 5 回理事会は、令和 2 年 3 月 31 日 17 時より日本新聞協会会議室において、推薦委員選出選挙の開票結果を議題として開催予定していたが、新型コロナウイルス感染症の広がりに対応して延期された。

3. 令和元年度 研究大会・研究会

令和元年度研究大会は、11 月 8 日(金)東京中央区の同志社大学東京サテライトキャンパス・セミナー室で行われた。午前に行われた第 1 部では、4 つの研究報告がなされた。午後に行われた第 2 部では、シンポジウム「情勢調査はどこへ行くのか」をテーマとして、松本正生理事の「選挙予測報道の岐路 ―情勢調査をめぐる―」の基調報告と、情勢調査に関わる 3 つの研究報告がなされた。その後、前田直人会員を司会者として、「情勢調査の未来を語る」と題して、5 名からなる討論が行われ、参加者との広い議論も行われた。研究大会参加者数は 107 名、研究大会後に行われた懇親会の参加者は、45 名であった。(研究大会の記録は会報 125 号に掲載)

4. 常務理事会

常務理事会は、日本新聞協会及び日本放送協会放送博物館会議室などで 8 回

開催された。研究大会と研究会の実施並びに運営について、会報『よろん』の編集と発刊について、協会広報の中心となる「ホームページ」のあり方ならびに資料の保存と記録について、会員の入退会、理事会・評議会への提案事項など、協会の運営と事業について検討し審議した。

5. 委員会活動

1) 調査研究委員会（委員長 川本 俊三）

委員会は、研究大会ならびに研究会の準備・実施のために4回開催された。（日本新聞協会会議室及び日本放送協会博物館メディアラボ）。研究大会は、令和元年11月8日に開催された。研究会は、令和2年5月19日に開催を予定している。

2) 会報編集委員会（委員長 荒牧 央）

委員会は、会報『よろん』124号及び125号の発行のために4回開催され、編集内容ならびに執筆者を検討した。会報『よろん』124号は令和元年10月に、125号は令和2年3月に発行した。

3) 広報委員会（委員長 佐藤 寧）

世論調査協会のホームページのサーバーをリプレイスした。ホームページの内容・デザインを一新した後の課題として、リンク先の整備があることが報告され、今後対応を図ることにした。

6. 新年互礼会

新年互礼会は、令和2年1月24日18時から、日本記者クラブBホールにおいて開催された。22名が参加した。

7. 会員の異動状況

【令和元年度末会員数】

団体会員	22（1増）
特別団体会員	5（増減なし）
個人会員	76（3増4減）
賛助会員	4（増減なし）

令和元年度事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告における、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補足する重要事項が存在しないことから作成していない。

令和2年3月

公益財団法人 日本世論調査協会